



グローバル教養学部

(Faculty of Global and Interdisciplinary Studies:GIS)
 私たちが直面する平和や環境問題を地球規模で捉え、その解決のために不可欠な要素は、「既存の研究の枠組みにとらわれない幅広い教養」と、「地球語」である英語の完璧なマスター。GISは画期的な教育プログラムによって真の国際人を育てます。その一つは、全ての授業を英語で行い、世界基準の英語力を身につける「英語イマージョン教育」。もう一つは、徹底した少人数教育です。1学年100名に対し14名の専任教員と50名以上の兼任・兼任教員を配置。多様な出身地・海外経験を持ち、研究領域も多彩な教員の親身な指導を受けながら、従来の学問領域を超えたグローバルな視点を身につけます。

グローバル教養学部 グローバル教養学科3年
服部 圭さん

(はっとり・けい) 千葉県・芝浦工業大学柏中学高等学校出身。小学2年からの4年間をマレーシアで過ごし、高校1年次と2年次にはオーストラリアでのホームスティも経験。中学生の頃から憧れていた海外で活躍できる力をつけるためにGISを志望。入学後は、GISの学びの環境に刺激されながら、ボランティアサークルでの活動や、成田国際空港のカフェでのアルバイト、オープンキャンパスの学生スタッフなどを続け、2年次の春休みに国際インターンシッププログラムでマレーシアへ。来春から1年間のオーストラリアの協定校への派遣留学を目指してチャレンジ中。

英語を活かして世界で活躍するために 徹底した少人数教育でグローバルに鍛えるGIS

刺激的なGISで思う存分に学び
 充実した国際教育プログラムで世界にジャンプ。
 国際インターンシップを経験し、異文化の中で
 グローバルな働き方に向き合うことができました。

<http://nyushi.hosei.ac.jp>

DATA

1880年設立
 法学部、文学部、経済学部、社会学部、経営学部、国際文化学部、人間環境学部、現代福祉学部、キャリアデザイン学部、デザイン工学部、グローバル教養学部 (GIS)、スポーツ健康学部、情報科学部、理工学部、生命科学部
 〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
 【お問い合わせ】TEL.03-3264-9300 (入学センター)

オープンキャンパス情報 ※市ヶ谷キャンパスのみ一部事前予約制。詳細は本学入試情報サイトでご確認ください。
 市ヶ谷キャンパス 8月7日⑥・21日⑥・22日⑥ ※対象：文系全学部およびデザイン工学部 (注)
 多摩キャンパス 8月6日⑥・20日⑥ ※対象：経済・社会・現代福祉・スポーツ健康学部
 小金井キャンパス 8月6日⑥・27日⑥ ※対象：情報科・理工・生命科学部
 (注) 経済・社会・現代福祉・スポーツ健康学部は8月7日・21日のみ対象。



英語を使って世界とつながり
 国際社会で活躍したい

独自のグローバルポリシーを制定し、「持続可能で平和な地球社会の構築に貢献する大学」を目指す法政大学。2014年9月に文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」に採択され、充実した国際教育プログラムの下、グローバル人材の育成に取り組んでいます。

徹底した少人数教育で、全ての授業を英語で行うグローバル教養学部 (GIS) で学んでいる服部 圭さんは、「海外で仕事がしたい」という目標を実現するため、さまざまなチャレンジを続けています。

父親の仕事の関係で、小学2年からマレーシアで過ごした私は、4年間の現地の暮らしの中で、日本人とは異なる多様な文化的背景を持つ人がいることや、英語を使えば、世界のさまざまな人たちとコミュニケーションができる楽しさを知りました。帰国して日本の中学校に入学してからは、好きだった英語が得意科目になり、ますます興味を深めていきました。そして、高校1年と2年の夏休みにはオーストラリアでのホームスティを経験。英語を活かし、国際社会で活躍したいという思いが、次第に大きく膨らんでいきました。

高校生になって、具体的な進学先を検討するうちに、私は英語を勉強することが好きだけれど、「英語そのものを学びたい」のではなく、「英語で」何かを学びたい」ということに気づきました。日本にいながら「英語で学べる」学部、そして在学中の留学を実現しやすい大学を探していた時、出会ったのが法政大学のグローバル教養学部 (GIS)。GISの「既存の学問の枠組みを超えて、多彩な専門領域を全て英語で学ぶ、新しい時代のリベラルアーツ教育」に魅力を感じた私は、一般入試

への挑戦を決めました。

少人数制で意欲を引き出され
 思う存分チャレンジできる

入学後、英語で行われる授業に慣れるまでの間は、毎時間、高い集中力が必要で、帰宅するとすぐ寝てしまうような毎日。でも、徹底した少人数制で先生との距離が近く、学生一人ひとりに向き合ってくださるGISの学びの環境の下、授業へのモチベーションを維持することができました。GISはどの授業もディスカッションしやすい人数のため、意欲的なクラスメイトに刺激されるとともに、努力を認め、きちんと評価してくださる先生方に自発的なやる気を引き出されます。

大学時代にボランティアを経験したいと思い参加したIVUSA (イビューサ：NPO法人国際ボランティア学生協会) では、他学部、他大学の学生とも交流でき、新潟県長岡市の花火大会でのボランティアなどで貴重な体験ができました。GISには親密なコミュニティがあり、学内外で自由なチャレンジができる法政大学のキャンパスライフはとても楽しいです。



▲受験生の頃に感じた漠然とした不安を軽減できるようにサポートしたいと思い、2年次からオープンキャンパスの学生スタッフを務めている。

4年次に派遣留学への挑戦を決めていた私は、早目に就活を考えようと思って訪れたキャリアセンターで、インターンシップをアドバイスされました。そんな時、グローバル教育センターからのマレーシアでの国際インターンシッププログラムの情報をキャッチして、応募。2年次の春休みに日本とマレーシアで各1週間の業務を体験し、「海外で仕事をするためには、これから何を学ぶべきか」を具体的に考えることができました。在学中の留学を果たし、卒業後、世界で活躍するために、チャレンジを続けます！

ココに注目!

グローバル人材を養成する独自の留学制度など多彩な国際教育プログラムを展開

【国際ボランティア・国際インターンシッププログラム】

●学生が海外での様々な体験を通して世界を違う視点から見ることで、グローバル人材を養成していくプログラムを実施。国際ボランティアでは、国際社会に貢献するボランティア活動を外国人と共にやり、外国人と直接交流して、文化や言葉の壁を越えた理解を深めながらコミュニケーション能力を養い、海外に積極的にチャレンジしていく学生を育てます。国際インターンシップでは、企業などのグローバル化に対応して、各国の経済状況や文化を実際に体験。働き方や文化の違いを学び、将来的にはグローバル企業への就職など学生のキャリア形成支援につなげていくことを目指しています。

【派遣留学制度】※協定を結ぶ海外18カ国・地域49大学に約1年間派遣。

●学部を問わず、2・3年生の応募者の中から選考のうえ、3・4年次に奨学金を支給し、各協定大学に約1年間派遣する独自の留学制度。派遣先大学により奨学金70～100万円が支給され、派遣先の授業料は全額免除されます (ただし留学年度の本学の学費は本人負担)。留学前の手続きから帰国まで、情報提供や相談などグローバル教育センタースタッフによるきめ細かい支援の下、留学を実現できます。

【英語強化プログラム (ERP)】

●一定の英語力と高い英語学習意欲を有する全学の学生を対象に、グローバル社会で活躍するための英語力を養成するプログラムを、市ヶ谷、多摩、小金井の各キャンパスで実施。授業の空き時間に無料で受講できます。授業はすべて英語で行われ、英語4技能 (listening, speaking, reading, writing) の養成とともに、技能統合 (skills integration) を重視した授業を展開し、実践的でバランスのとれた確かな英語力を養成。留学準備・留学後のフォローアップにも活用できます。

★2017年度入試から英語外部試験利用入試 (一般入試) が充実します

●英語外部試験利用入試 (一般入試) は、各学部・学科が指定する英語外部試験【TOEFL-iBT®、TOEFL-PBT®、IELTS (Academic Module)、実用英語技能検定、TOEIC®、TEAP (4技能)】の基準を 満たすことで英語科目が免除となる1科目入試。2016年度入試より、人間環境・現代福祉・グローバル教養 (GIS)・スポーツ健康・情報科・生命科学部で実施されていますが、2017年度入試から、経済学部国際経済学科が新規に導入。また、人間環境・スポーツ健康・情報科・生命科学部では英語外部試験利用入試の対象試験に新たにTEAP (4技能) を追加します。

■詳細は本学入試情報サイトをご覧ください。